

海蔵小学校だより

平成26年9月30日（火）

— 全国学力・学習状況調査の結果および今後の取組について —

今年度、4月22日（火）に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査について、本校の状況をお知らせします。実施された教科は国語と算数です。来年度は、4月21日に実施で、理科が加わって3教科になります。

1 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果

(1) 教科について全国・県平均との比較

国語と算数の2教科、それぞれ知識力を問う問題Aと、知識活用力を問う問題Bの調査があります。国語A・算数A・算数Bでは、全国平均をすべて上回りました。特に、算数は得点率が高いという結果でした。国語Bは県平均では上回ったものの、全国平均をやや下回りました。

(2) 本校児童の学習における強み・弱みについて

子どもたちは、日頃から授業に集中して取り組んでいます。本校は、「話す・聞く・書く・読む」力を育てることに重点をおき、基礎・基本の力を十分につけていく取り組みを続けてきました。今回の調査も、基礎的な力の定着は向上しつつあるという結果が表れています。

課題（弱み）としては、自分の考えを文章で説明する力が弱いという傾向があることです。本調査では、自分の考えを書く設問で無解答率が高くなりました。国語のみならず算数でも記述式の設問に対しては、自分の考えを筋道立てて説明することがうまくできない児童が多く、記述式回答の対応力の向上に向けて、今後検討していく必要があります。

2 今後（現状も含めて）の取組について

(1) 国語科を中心とした授業改善

本校では、日頃より、国語の指導を大切にしています。それは国語がすべての教科につながる基幹教科と考えているためです。その中で、書かれている文章を構造的にとらえることができるよう、指導を積み重ねています。

(2) 全国学力・学習状況調査の問題の内容を踏まえた授業改善

文章や資料から読み取ったことを根拠に基づいて説明したり、証明したりすることは、苦手という結果から、子どもたちには文章を構造的にとらえる力を伸ばすことで、論理的な思考力をつけ、人の話を聞き取ったり、伝える時の筋道をもてるようにしたりすることが必要だと考えております。本校においては、そのような力を育成する授業研究をすすめています。

(3) 家庭学習の充実

家庭学習に関する児童質問用紙の結果では、多くの項目で昨年度より望ましい回答が多くなり、全国平均を上回るようになりました。「家で、学校の宿題をしている」「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」などです。

また、テレビ視聴、テレビゲーム等の時間が減り、どちらも3時間以上という回答が全国平均を下回るようになりました。

一方で、宿題はしているものの、予習・復習など自主的な学習については、全国や県と比較して、平日も休日も、家庭学習の時間が少ないという結果でした。依然として、通話・メール・ネット利用の時間は、2～3時間以上の割合が高くなっています。

家庭学習習慣の定着のためには、生活リズムを含め、家庭での時間の有効な使い方について、保護者の皆さんの協力を得ながら見直していくことが重要であると思います。今年度は、『家庭学習の手引き』も配付いたしましたので、ご家庭の協力を得て、家庭学習習慣定着に努めてまいりたいと思います。学校の方では、宿題だけではなく、予習や復習、自分で課題を設定しての学習など、多様な方法を指導していく必要があると考えています。

児童は学力向上だけでなく、今後、社会の中で生きていく上において必要な力（課題解決能力やコミュニケーション力等）をはじめとして知・徳・体をバランスよく身につけることが必要です。本校では、これからも「共に生きる力をはぐくむ」という学校教育目標のもと、「授業に真剣に取り組む子」「きまりを守る子」「あいさつをする子」「友だちと仲良くする子」を中心に授業改善や仲間づくりを大切にしております。

今後も、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

今回は、全国学力・学習状況調査時に併せて行われました「児童質問用紙」の結果についてまとめてお知らせいたします。